※MEDI-DPCコードファインダーは、ニッセイ情報テクノロジー株式会社の登録商標です。
※記載の社名、商品名は各社の商標、または登録商標です。
※パンフレットの記載内容は、2023年5月現在のものです。
※動作推奨環境は、予告無く変更する場合がございます。
※画像に記載された情報は、すべて架空の個人情報です。

MEDI-DPC コードファインダー

DPC調査データ（様式１）の作成からDPC請求まで
DPC業務をトータルに支援します

NISSAY IT

MEDI-DPCコードファインダー
＜特 徴＞

DPC業務運用支援システム

- **DPC対象病院**、**DPC準備病院**のいずれでもご利用可能
- 『**DPC調査データ（様式１）**』の作成から『**DPC請求**』まで、DPC業務をトータルに支援

貴院の運用構築をサポート

- DPC調査およびDPC請求スタートにあたっては、**経験豊富なスタッフ**が**他院での事例を紹介**しながら貴院の運用構築を支援
- **定期的な情報提供サービス**を実施

導入実績

- **400を超える医療機関**で稼働中。（2023年5月現在）
- 国内主要メーカ各社の**電子カルテ・オーダリング・医事会計システム**と接続実績があり、病院個々の業務フローに応じた柔軟なシステム連携が可能

製品・サービスの特徴

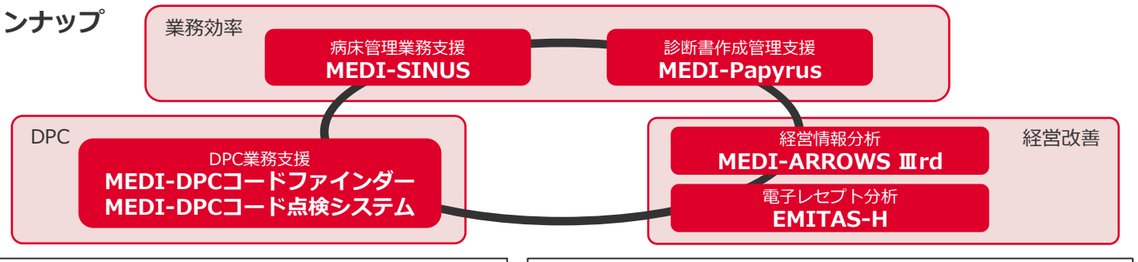
- **追加費用なし**で制度改正・様式１改訂・機能アップに対応　※システムサポート契約締結が必要
- **データベース公開**によりデータの二次利用が可能（オープンインタフェース）

動作推奨環境

サーバ
- OS：Microsoft® Windows Server 2019 Standard
- CPU：Intel® Xeon E3 2.40GHz相当以上（クアッドコアプロセッサ以上）
- HDD：実容量500GB以上（NTFS,RAID5）　※Cﾄﾞﾗｲﾌﾞ100GB以上
  注）必要HDD容量は導入ｵﾌﾟｼｮﾝやﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ運用方法等により変動します。
- メモリ：16GB以上
- ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ装置：USB外付HDD 500GB以上（NTFS）
- ﾈｯﾄﾜｰｸｶｰﾄﾞ：2個以上（1000BASE-T）（院内LAN、ﾘﾓｰﾄ保守用各1個）※要固定IP
- モニタ：SXGA（1280×1024）※縦864以下の場合、システム画面が収まりません。
- 無停電電源装置（UPS）　推奨

クライアント
- OS：Microsoft® Windows 10 , Windows11
- CPU： Intel Corei3相当以上のマルチコアプロセッサ
- HDD：実容量10GB以上
- メモリ：4GB以上推奨
- モニタ：SXGA（1280×1024）
  ※縦864以下の場合、システム画面が収まりません。

製品ラインナップ



ニッセイ情報テクノロジー株式会社
ヘルスケアコンサルティング営業部
〒144-8721
東京都大田区蒲田5-37-1 ニッセイアロマスクエア10F
TEL：03-5714-2320 FAX：03-5703-7110
E-mail：dpc@nissay-it.co.jp
URL：https://www.nissay-it.co.jp
＜文書審査NO. NIT2023-047(ヘ営015)06 ＞

DPC業務支援システム

MEDI-DPCコードファインダー

- 2003年4月のDPC制度発足から多くのユーザー様のご要望にお応えしてきた完成度の高いソリューションです。
- 400を超える医療機関でご利用中。対象病院・準備病院のいずれでも、ご利用いただけます。

ニッセイ情報テクノロジー株式会社

DPC請求支援

よくある課題

MEDI-DPCコードファインダーによる支援

DPCコーディング

①DPCコーディングに時間がかかる
- 患者の傷病名・手術・処置等を確認し、DPCコードを決定しなければならない

②医師が決定した「医療資源を最も投入した傷病名」が適正かどうかチェックするのが大変
- 複数の傷病名がある場合、比較をしなければならない

③出来高点数との差額が気になる

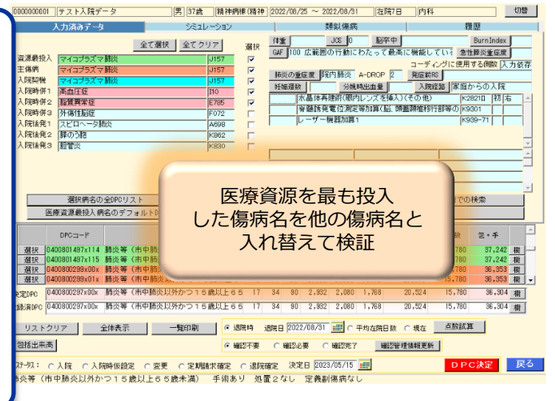
豊富な支援機能により正確なDPCコード決定が可能

①DPCコード自動コーディング機能
- 登録した傷病名、手術・処置等の情報から自動でDPCコードを決定

②DPCコード比較機能
- 傷病名を入れ替えて比較可能
- 在院日数、包括点数の視点から検証可能

③包括/出来高比較機能（Ｅ・Ｆファイル連携）

DPCｺｰﾃﾞｨﾝｸﾞ画面



適正な請求業務

①診療実績がDPCコードに正しく反映できているか不安
- 追加・修正内容がDPCコードに反映できているか確認したい
- 未反映があった場合の医師への確認に手間がかかる

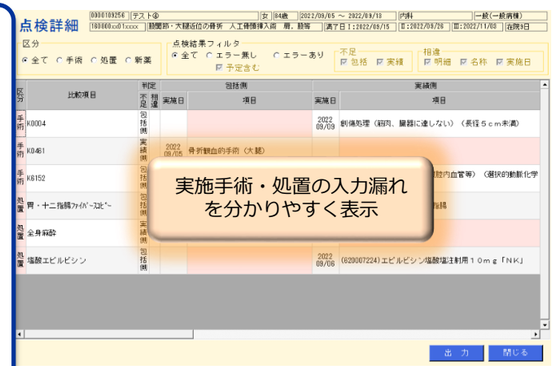
②手術・処置の入力漏れチェックに時間がかかる
- 人の手によるチェックでは、効率が悪い
- 担当者により、チェックの精度も変わってしまう

充実した点検機能により適正な包括請求を支援

①一括点検機能
- DPCコードと入力内容の整合性をチェック
- エラーリスト、医師確認用のリストを出力

②実績点検機能（Ｅ・Ｆファイル連携）※オプション
- 診療実績との突合せにより手術・処置の入力漏れチェック（過大・過少請求の防止）

実績点検結果画面



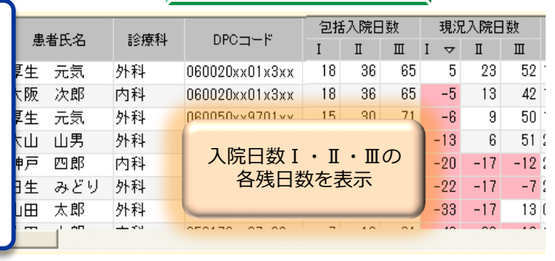
在院日数の管理

①患者の在院日数をDPC入院期間と比較したい
- 入院期間の目安を知りたい
- 患者全員のDPC入院期間を確認するのが手間である
- DPC入院期間を意識した診療計画を行いたい

在院日数、DPC入院期間を把握し、診療計画の参考にすることが可能

①在院日数とDPC入院期間の比較
- DPC入院期間（Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）、残日数を表示
- 在院日数の視点からDPCコードを検証

現況検索画面



DPC調査データ作成支援

DPC対象病院への移行後も継続して利用できます

よくある課題	MEDI-DPCコードファインダーによる支援

様式1

データ入力

①独自病名から標準病名への変換が大変
- 適正なICD10コーディングも必要
- 部位・詳細不明コードの使用割合による係数ペナルティを避けたい

②手術・処置の入力が大変
- 医事会計システムに登録した手術・処置情報を活用したい
- DPC対象病院に向けて、処置情報を入力する訓練が必要

③病名の入力が大変
- 電子カルテ、医事会計システムに登録した病名を活用したい
- 副傷病名の入力漏れを防ぎたい

各種検索機能、既存データ取込み機能により入力負荷の軽減が可能

①親切かつ豊富な病名検索機能
- キーワード・ふりがな・類義語検索
- 国際疾病傷害死因統計分類（第1巻,第3巻）に対応
- ICD10コードからの標準病名逆引き

②実施手術・処置登録機能
- 医事会計システムのE・Fファイルから手術・処置情報を登録

③病名選択機能
- 選択式による既存病名からDPC病名の登録
- 副傷病名の入力漏れガイド付き

厚生労働省提出

①提出前にエラーチェックが集中している
- 提出期限前にエラーが発生し、あわただしくなってしまう

②提出データのエラー解決に時間がかかる
- 形式チェックツールではエラーが一度に出力されない。また、エラーメッセージがわかりにくいため、エラー修正に手間が掛かる
- 医師・看護師への確認が必要

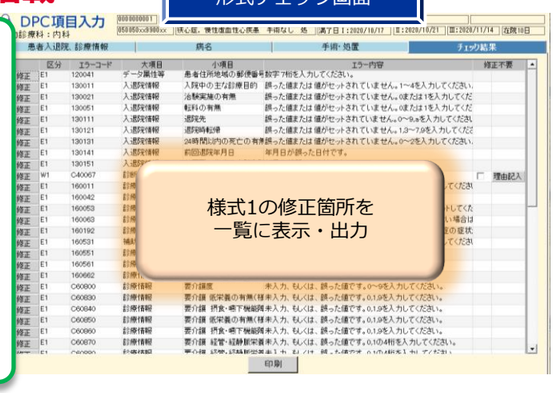
③様式1データの精度を高めたい

厚生労働省の「形式チェックツール」を網羅した精度の高いチェック機能を搭載

①入力時のリアルタイムチェック機能
- 提出期限前だけでなく好きなタイミングで点検が可能

②親切なエラー表示・修正機能
- エラーの要因を分かりやすく一覧で表示
- エラー画面から修正画面へワンクリックで移動
- 確認のためのエラーリストを出力

③実績点検機能（E・Fファイル連携）
- 手術・処置の入力漏れ・誤入力をチェック



Hファイル

重症度、医療・看護必要度の集計 ※オプション

①患者の看護必要度の状況を把握したい
- 看護必要度Ⅰ・Ⅱの基準を満たす患者割合の集計が大変

病棟ごとに看護必要度Ⅰ・Ⅱの基準を満たす患者割合の集計が可能

①看護必要度Ⅰ・Ⅱ集計機能
- 看護必要度Ⅰ・Ⅱの基準を満たす患者割合を病棟ごとに、簡単に集計可能
- 集計単位を「月・週・日」に変更可能

※看護必要度Ⅱの算出は、
令和2年度厚生労働科学特別研究事業
「重症度、医療・看護必要度Ⅱの計算アルゴリズムの検証により、保険医療施策の立案に資するための研究」に参画した計算ロジックを使用